

は  
じ  
め









※この本は個人の趣味で作られたものです。  
公式等には一切関係がありません。  
転載・複製・オークションやフリマアプリへの出品等の行為は堅く禁止します。





…っん

おっ

…愛してる

齢にして十五歳余、



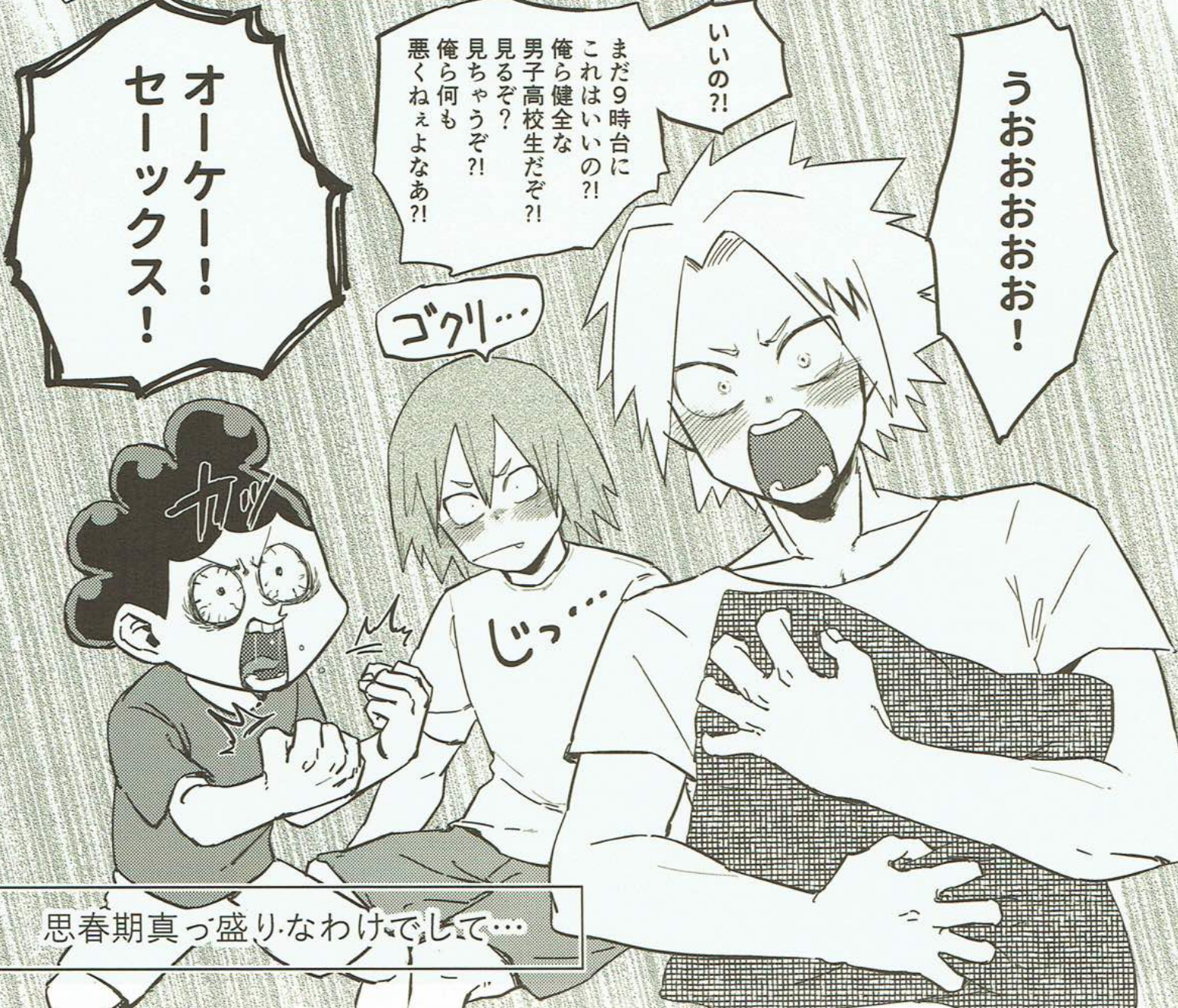
おお!

いい…?

あっ、

はあっ…

んっ!



うおおおおお!

うろ?!

まだ9時台に  
これはいいの?!  
俺ら健全な  
男子高校生だぞ?!  
見るぞ?  
見ちゃうぞ?!  
俺ら何も  
悪くねえよなあ?!

ゴクリ…

じっ…

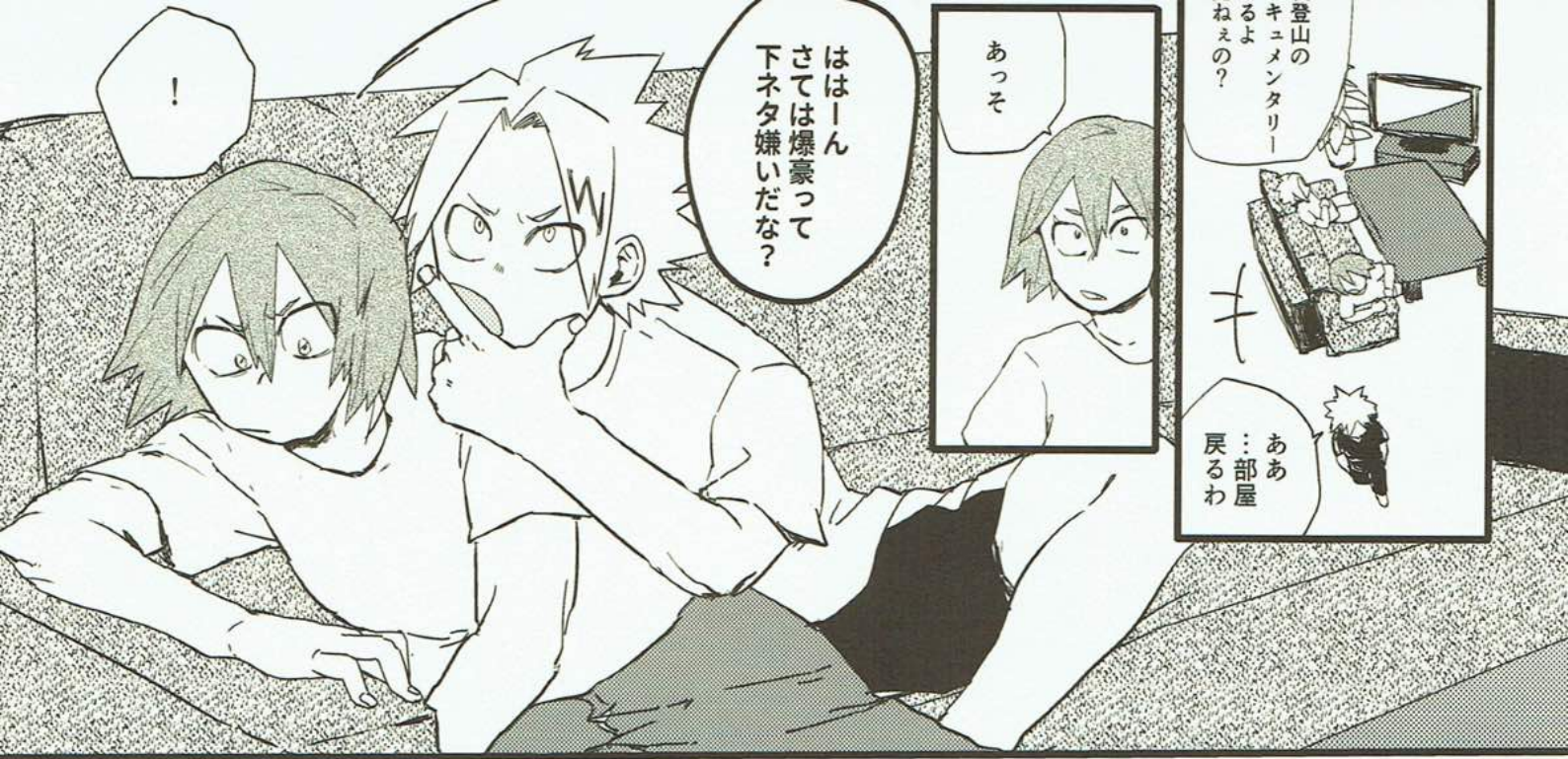
オーケー!  
セーックス!

思春期真っ盛りなわけでした…









ははーん  
さては爆豪って  
下ネタ嫌いだな？

あっそ

登山の  
キョメンタリ  
るよ  
ねえの？

ああ  
：部屋  
戻るわ



うーん  
どうかなあ  
かっちゃん  
ストイックな  
ところあるから

ってことは  
あいつも  
童貞か！

おー  
それだ峰田！  
セックスまで  
才能マン  
だったらまじ  
勝ち目ねーもん！

そうだ！  
下ネタでオイラの  
右に出るモンは  
いねえ！



なら縁谷、  
どーなん  
アイツ

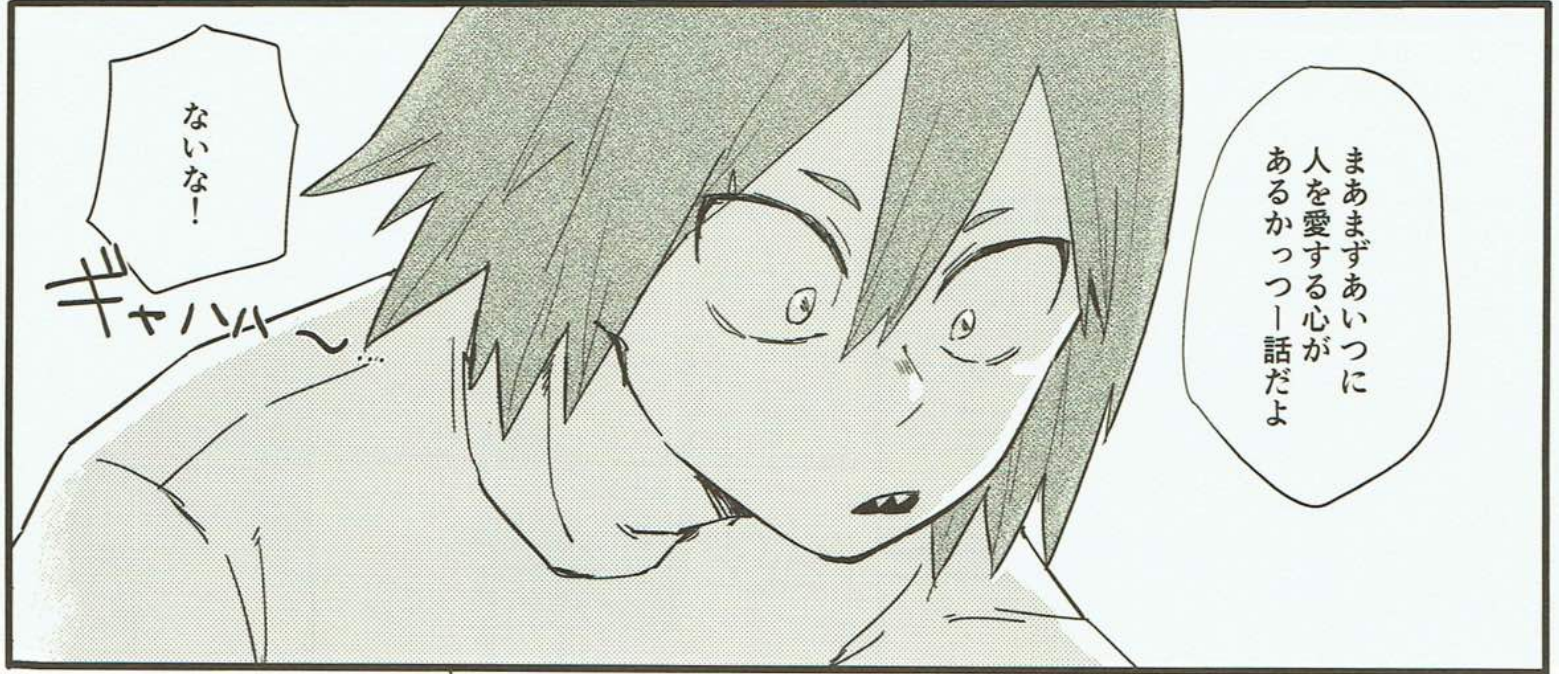
えっ？！  
僕？！



で、そのへんのとこ  
どーなん？  
オトモダチの  
切島くん

爆豪って  
この手の  
話題NG？

えー  
知らねえよ…



まあまずあいつに  
人を愛する心が  
あるかっつー話だよ

ないな！

キヤハハ～



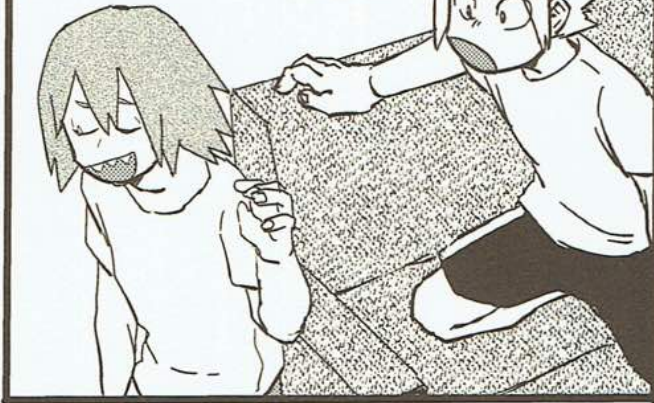
セックスは才能ではないのだよ

あはは...

あれ？切島も見ねえの？

夜はこれからだぜ♡

わりイねみい



十五歳

この年頃の若者の関心事と言えば、

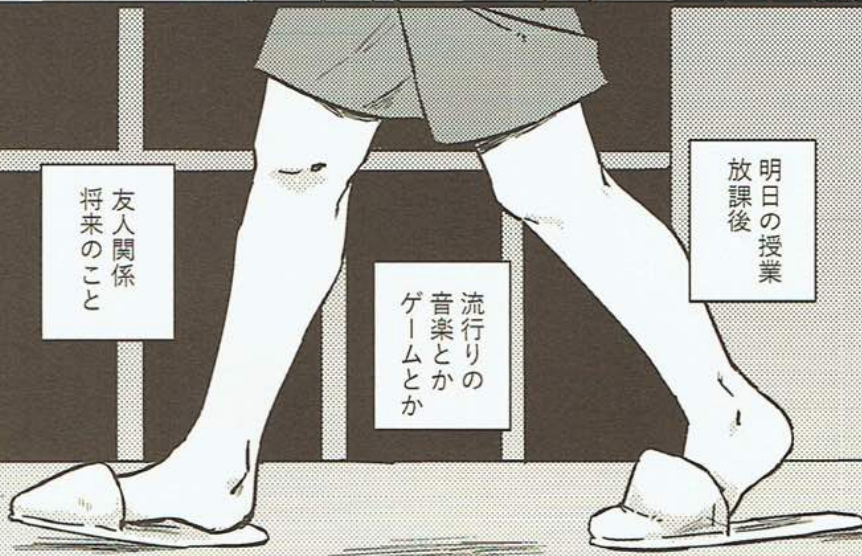
明日の授業  
放課後

流行りの音楽とかゲームとか

友人関係  
将来のこと

たまには生まれた意味とか考えたりもってもらいたい世の中に文句を言ったり無責任な哲学をしたり

ヒーロー志望と云えど十五歳然とした所謂ありがちな汗と涙と少しの抑圧の青春を過ごしているわけで



ハハ...

ハハ...

それは色恋なんかも例外ではなくって

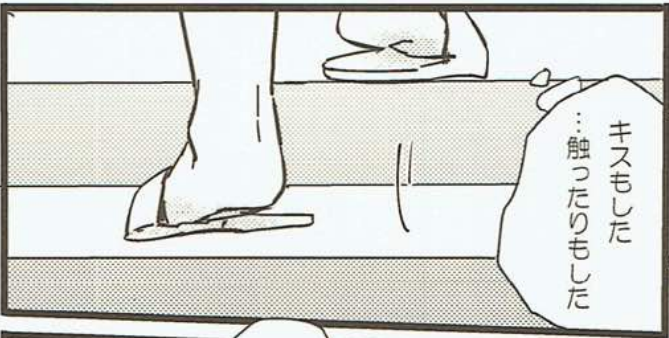
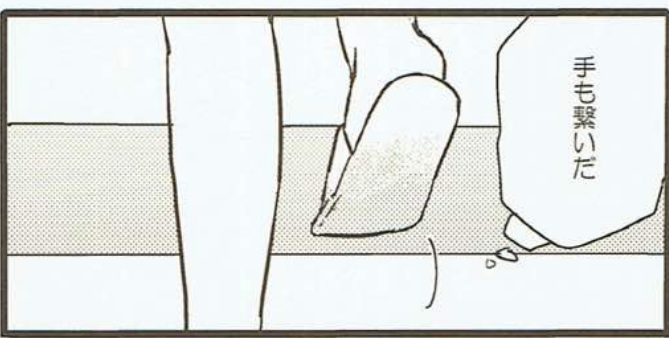
バクゴー  
確かに下ネタ  
苦手かもな

そっかあ  
うーん

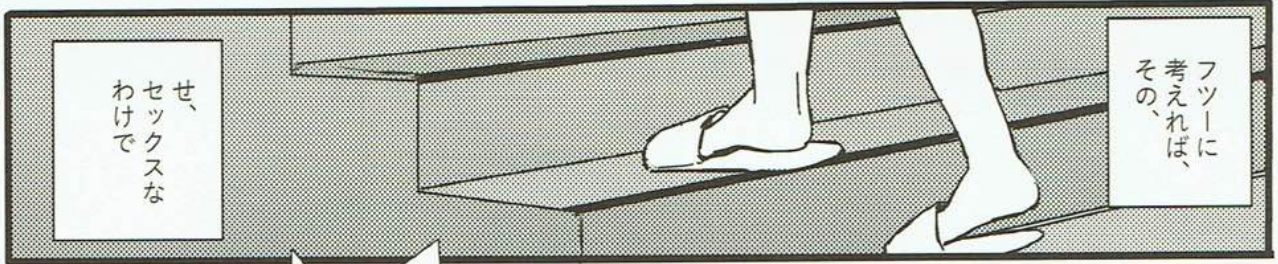
手も繋いだ

キスもした  
...触ったりもした

次は







ふつーの  
恋愛でさえ  
経験がないのに

初っ端から  
コイツってのは  
なかなか  
ハードモードだとは  
思う

お互い  
うまく  
立ち回れない



それでも俺は  
爆豪のことが好きで

まつ毛なげー  
髪色と一緒に…

手も長くて  
爪もきれいだな

実は爆豪からは  
はっきり言葉にして  
「好き」と言われたことはない

俺は伝えるけど  
返ってくるのは  
「おう」とかの  
相槌だけで

でもあのバクゴーが  
手を繋ぐのも  
キスも許してくれたし  
こうやって一緒に  
過ごしてくれている

それだけで  
特別に思われてるって  
俺にはわかるし

わ、わりい  
帰ろうぜ

だから身体を  
繋げるとか  
そういうのも  
いずれ、って  
思ってたんだけど

爆豪って  
そういうの  
嫌いなのかな

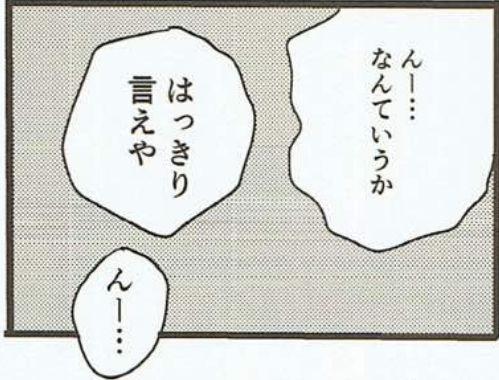
禁欲主義って  
かんじだよな

淡泊







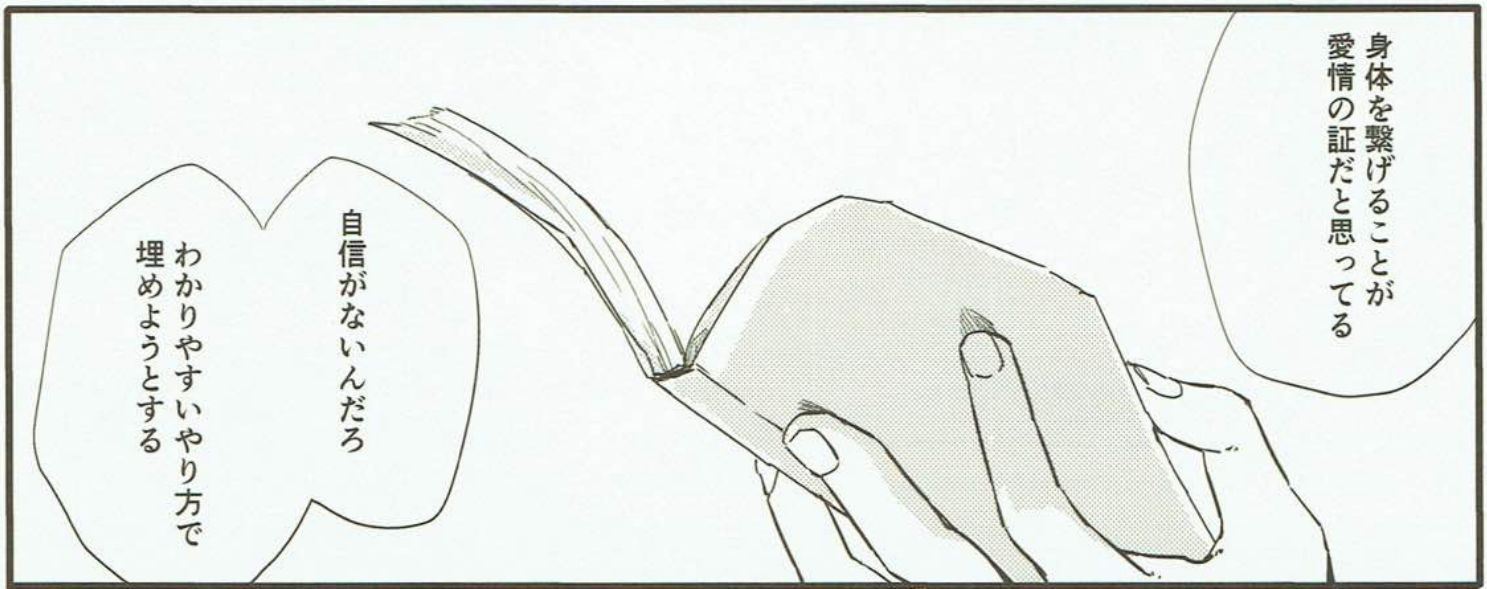






不安だからだろ

そりゃきつと



身体を繋げることが  
愛情の証だと思ってる

自信がないんだろ

わかりやすいやり方で  
埋めようとする



相手の心ってもんは  
目に見えねえからな

釘を刺されたと  
思った



それか  
快樂主義か









お前が誰を想って  
何を考えて眠るのか

俺は  
これっぽっちだって  
知らないんだ

俺とお前を  
繋いでるものって  
なんだろう  
確かなものが  
あるのかな

たった一言で  
急に気持ち  
宙ぶらりんになって  
進むことも  
戻ること  
もできない



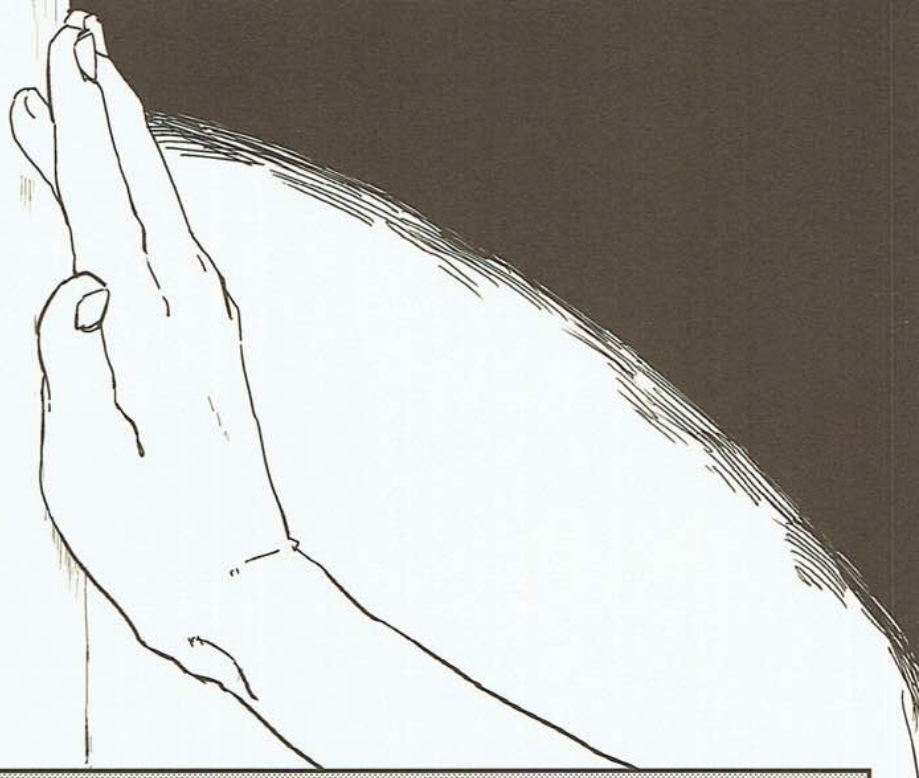
なんとなく  
この日、  
爆豪とは  
そういうことは  
しないと心に決めて  
俺は目を瞑った

長い夜に  
長い雨が窓の棧を  
打つ音が聞こえて  
夏が行ってしまったと  
思った

前にも後にも  
身じろぎできなくて  
俺たちは停滞して  
しまったみたいだ



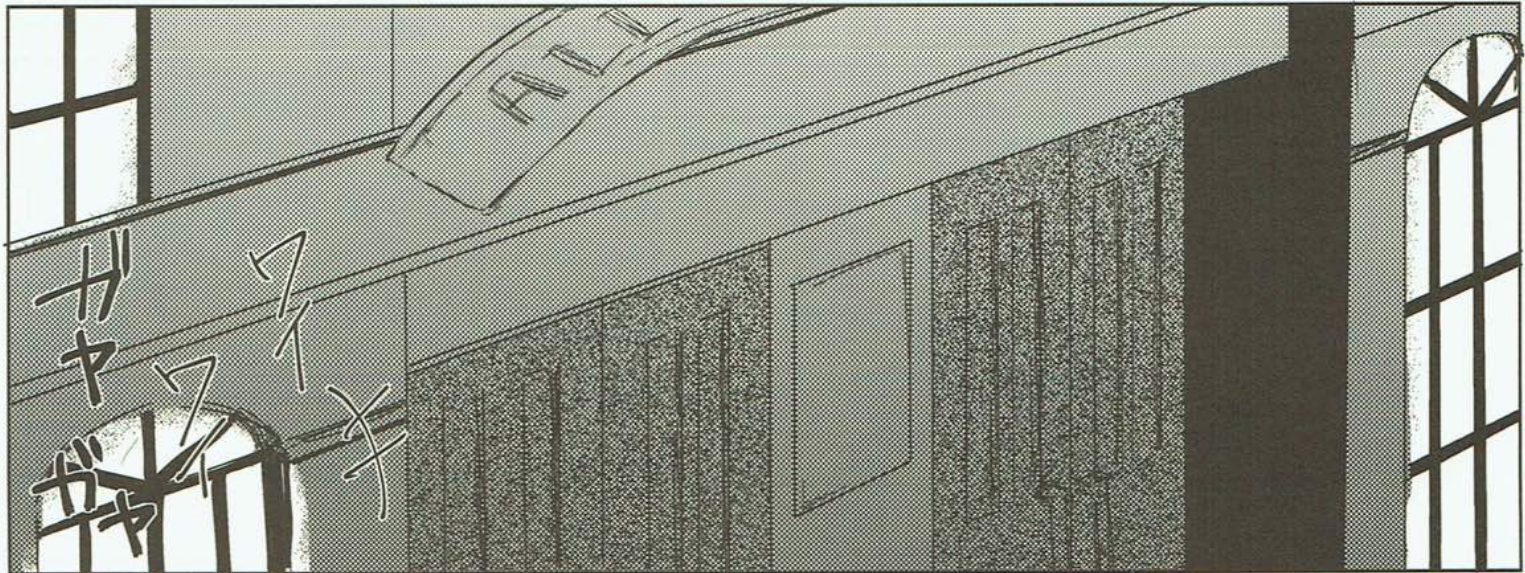
と  
T  
...



ばかやろう...

「はじめて」









えーゴホン

本日は年度末のお忙しい中  
紳士淑女の皆様、  
お集まりいただき  
ありがとうございます

思い返せば僕たちの3年間、  
あんなことこんなこと  
色々なことがありましたが  
それも明日で

面白くねーぞ！

巻いて!!

長い！

あーもう！  
うっせーよおまえら！  
とにかく！



卒業  
前夜祭！  
盛り上がって  
いこうぜ！

カッパ  
乾杯

みんな3年間  
おつかれー！



3年間  
みんな  
ありがとうな  
...

うあーん

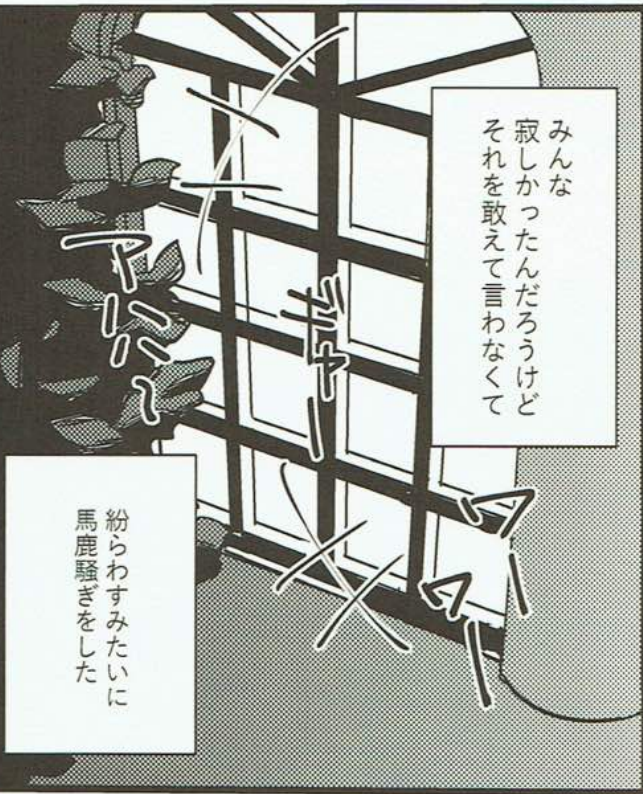
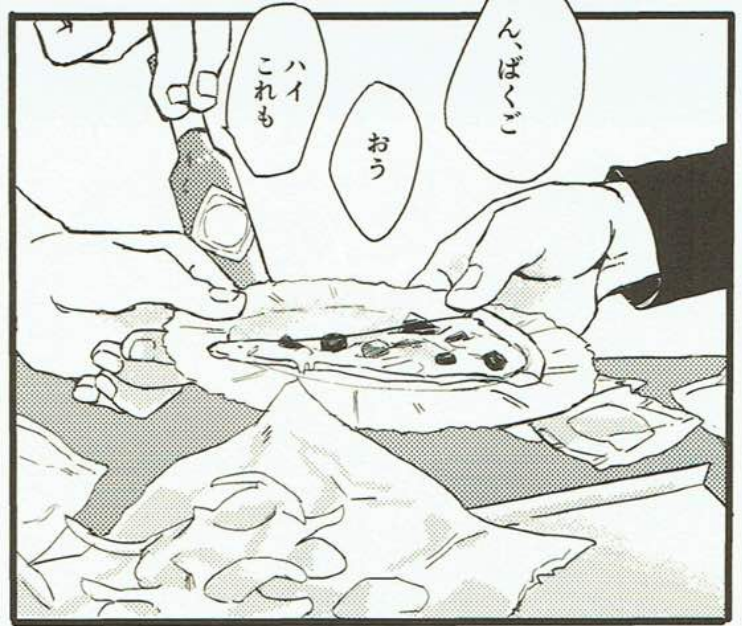
はえーよ

ピザ追加  
届いたよー

オードブルも

ガッ











俺らそんなんじや  
ねえしさ!



最後まで  
ブレねえな  
峰田

もー  
からかうなよ  
まあでも



うーす

やってるかー

相沢先生!



フフ!  
美しき友情な  
わけだね

…おお  
そうだけ



え!  
ちがうん?!

つまんな〜い



せんせーも  
こっち!

俺は  
仕事が…

いいじゃない  
ですかー!



あの、えっと  
これは…

安心しろ  
別に水を差しに  
きたわけじゃ  
ねえ

ほら  
差入れた

おおお!  
アザツス!







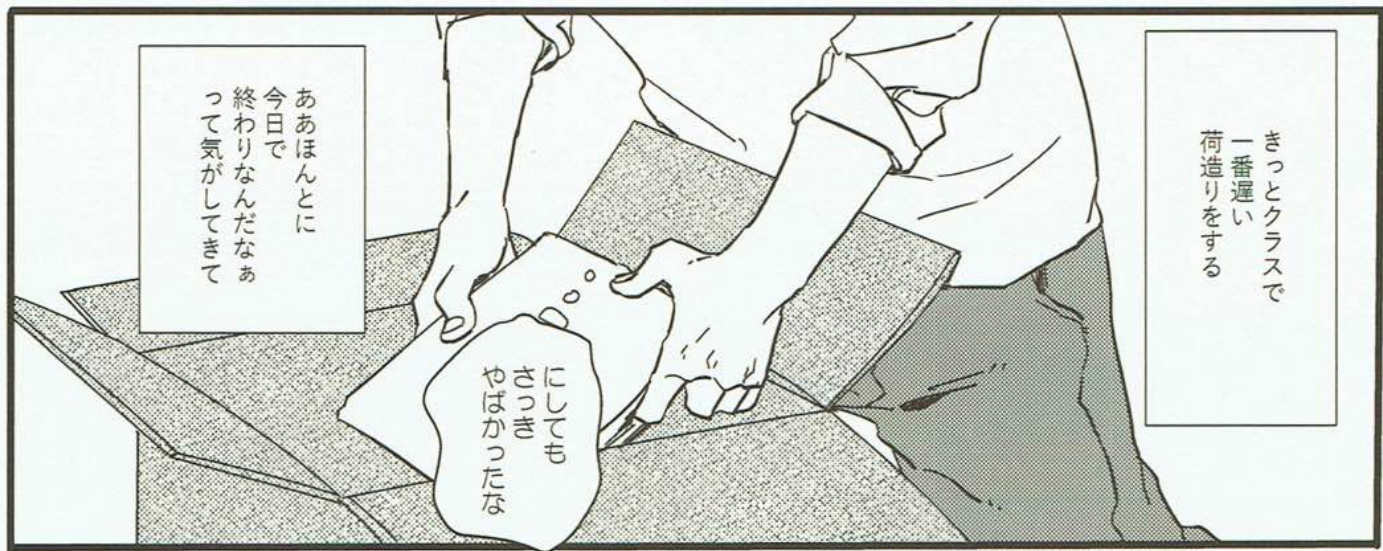


過去の自分を  
恨むぜ：  
爆豪にも  
あんなだけ  
言われてた  
のになー



これは  
やべーだろ

いやあ  
さすがに



ああほんとに  
今日で  
終わりなんだなあ  
って気がしてきて

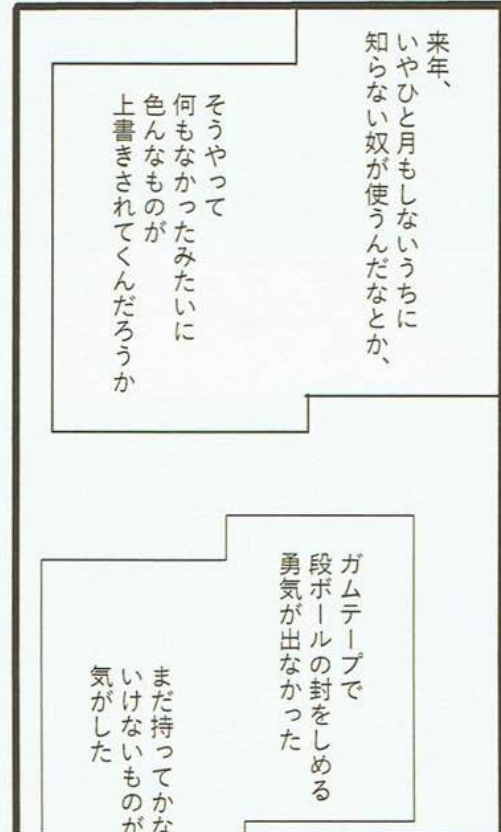
きっとクラスで  
一番遅い  
荷造りをする

にしても  
さっき  
やばかったな



あ

ホ



来年、  
いやひと月もしないうちに  
知らない奴が使うんだとか、  
そうやって  
何もなかったみたいに  
色んなものが  
上書きされてくんだろうか

ガムテープで  
段ボールの封をしめる  
勇気が出なかった

まだ持ってたかなきゃ  
いけないものがある  
気がした



みんなが  
読みにきた漫画とか  
上鳴がコピーラを  
零した机の下  
パーペルを落として  
傷つけた  
フロアリングの傷とか

たまたま爆豪が  
寝た布団  
ひとつずつ  
そういうのを  
見つけては片付けて  
空になってく部屋を見て

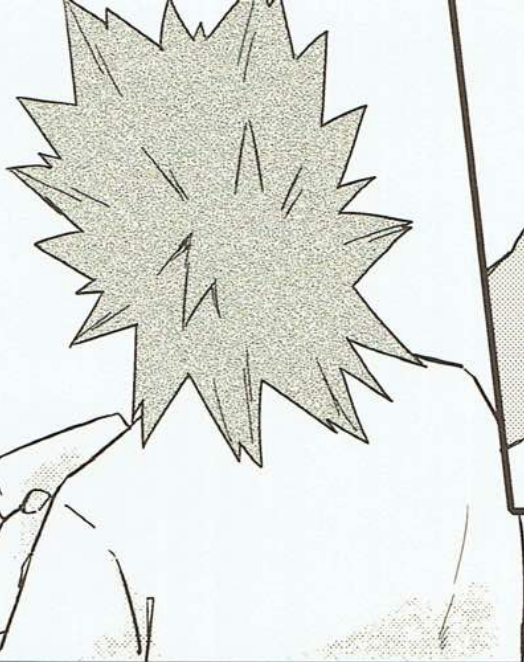




なあ

爆豪に  
借りた本だ

懐かしいな  
返してなかった



これ…



なになに  
何系？

えー  
いいじゃん

…さっさと解け



あ？  
解けたんか？

いや

おめーそれ  
何読んでんだ？



てめえ…  
やっぱ  
言うんじゃ  
なかったわ

ジュンアイね  
ジュンアイ…

ほ、  
ほうほう



…純愛





確かにおめー  
色んなこと  
知ってるもんな

本読んだら俺も  
頭よくなっかなー

本とか  
言葉はな、



爆豪本好き？

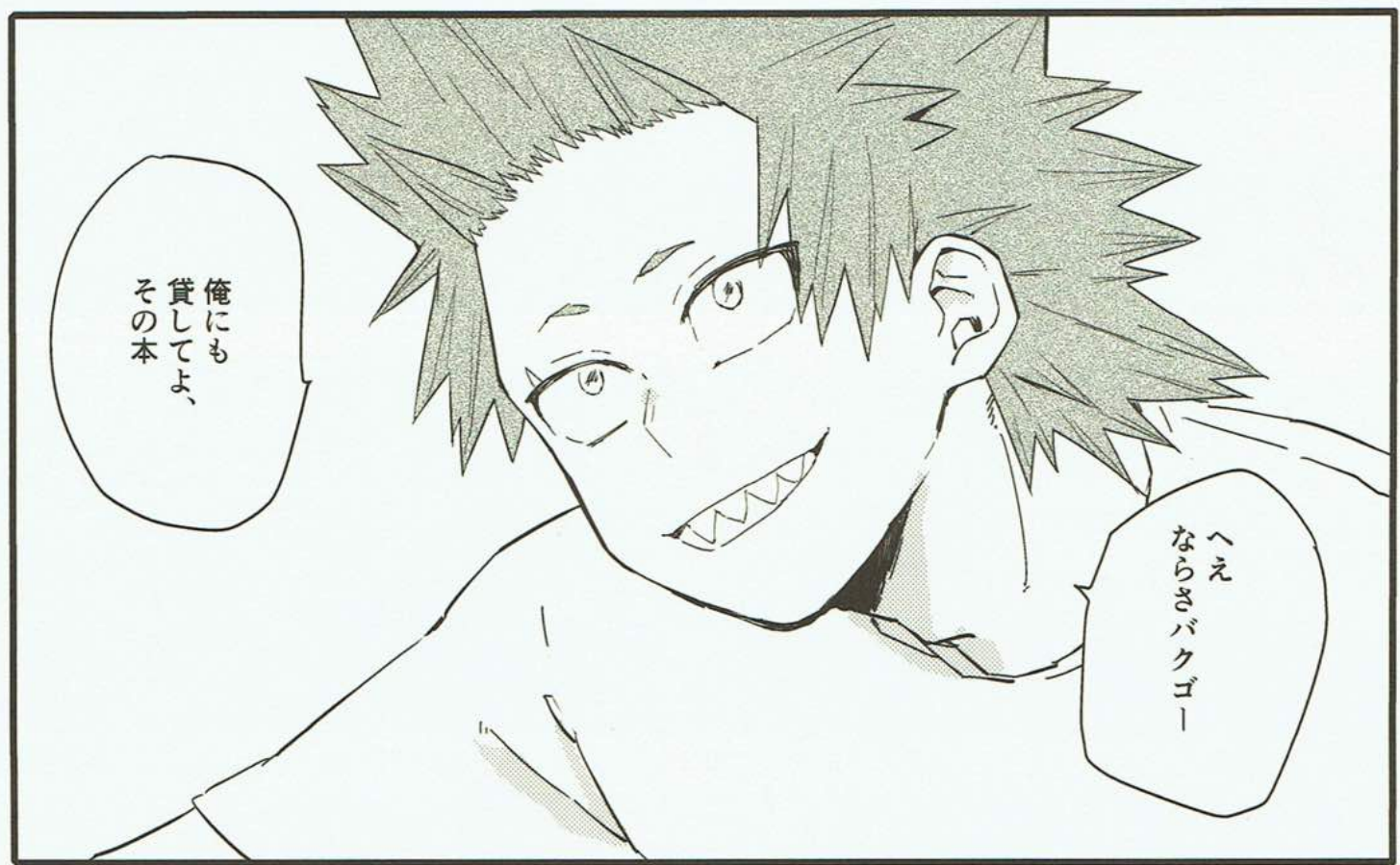
んあ？  
…まあ  
嫌いじゃねえな



感情に名前を  
与えるからな

よくわかんねえ  
イライラとか  
モヤモヤに名前が  
付いて落ち着く  
ときがある

名前…



へえ  
ならさバクゴ

俺にも  
貸してよ、  
その本





なんか色んな奴に  
返さなきゃいけない  
もんがでてくるな

...とか言って借りて  
結局読まなかったな

返さなきゃな

おお爆豪!



でけえ音  
立ててよ



もーこんな一生  
片づかねえじゃねえか

お?  
まったく  
何やっとなだ



あるわ  
ほうらよ



おお!  
まじ?

どうしたんだ?

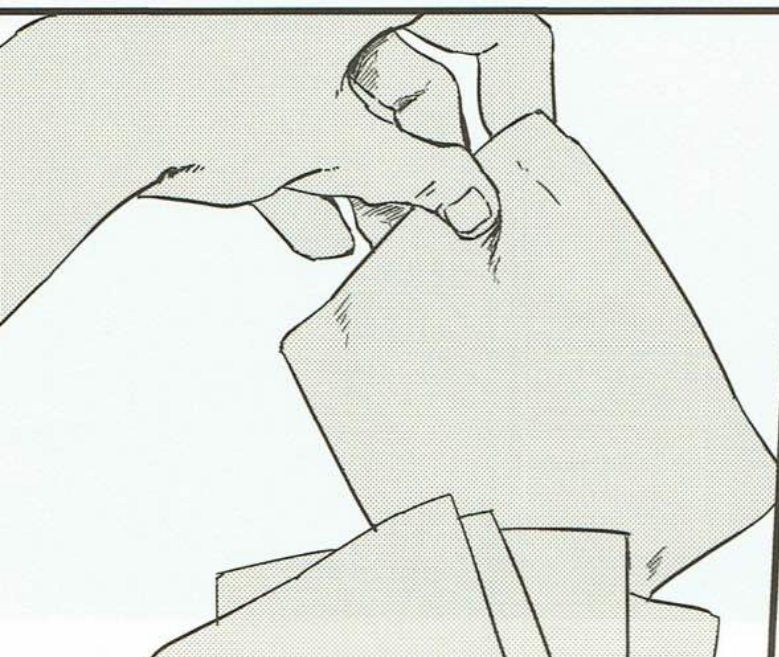
てめーが俺の部屋に  
置きっぱにしてたもん  
返しにきた



...これ!

どっかいったとか  
思ってた服だ!  
おめーが持ってたのか!









ああ…おめえ  
この頃には  
こうやって  
笑ってくれるように  
なったよなあ

……



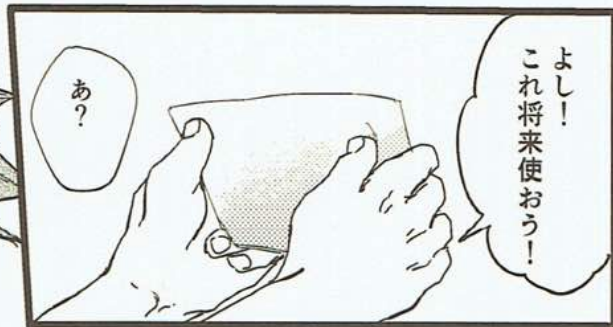
オイ、また何  
手止めてやがる…

いや見るこれ！  
1年のときの  
文化祭！



将来おめえは  
すげえヒーローに  
なるよ  
俺が保証する

ナンバーワン  
ヒーロー  
爆心地の  
学生時代ってな



よし！  
これ将来使おう！



インタビュ  
だよ！



お前だって  
なるだろ  
すげー  
ヒーロー



なんだそりゃ  
お前は  
違うんか

え？



だからこの写真で  
俺は自慢するね！  
俺はナンバーワン  
ヒーローの  
一番のダチだー  
って！





大阪で鍛えて  
強くなる!

俺もなるぜ!  
すげーヒーローー!

ああ!  
そうだな!

てめえはてめえの  
目指すヒーローの  
形があんだろうがよ



…別にいいわ  
静かに過ごせる

うわ  
ひでーの

…切島

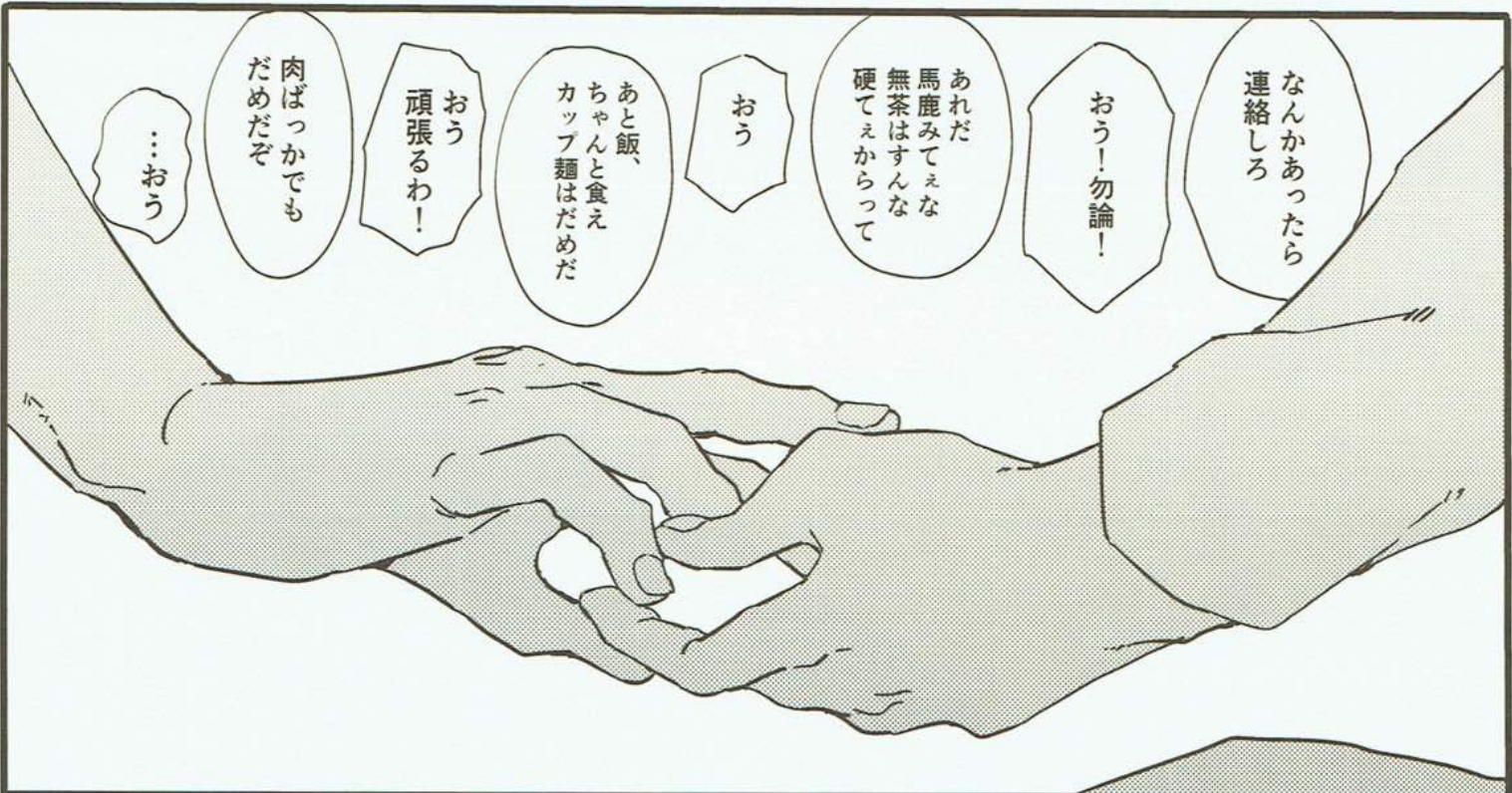
ん?



大阪



…ああ  
しばらく  
会えねえな



なんかあったら  
連絡しろ

おう! 勿論!

あれだ  
馬鹿みてえな  
無茶はすんな  
硬てえからって

おう

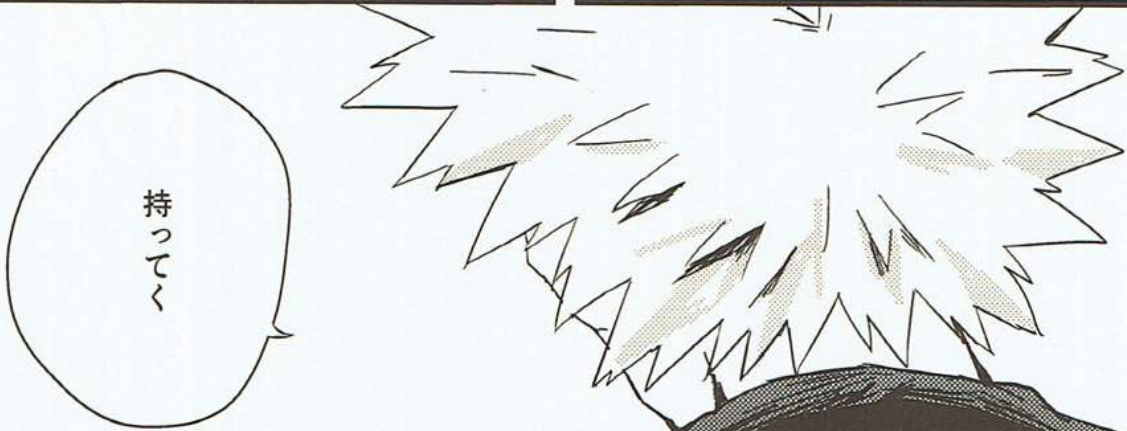
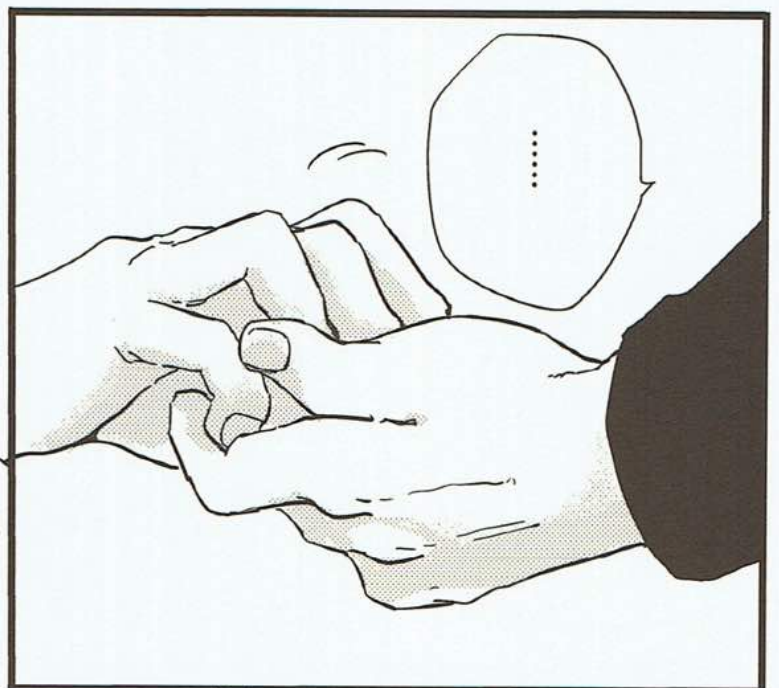
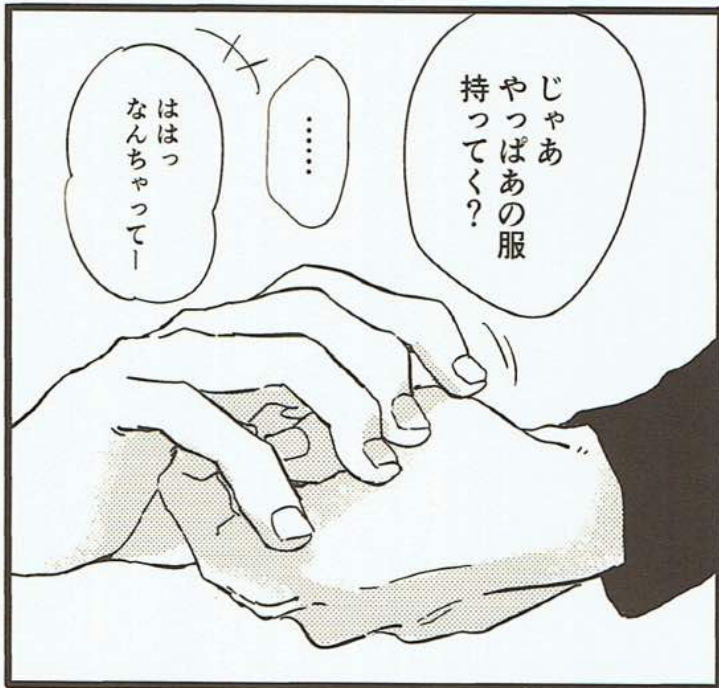
あと飯、  
ちゃんと食え  
カップ麺はだめだ

おう  
頑張るわ!

肉ばっかでも  
だめだぞ

…おう

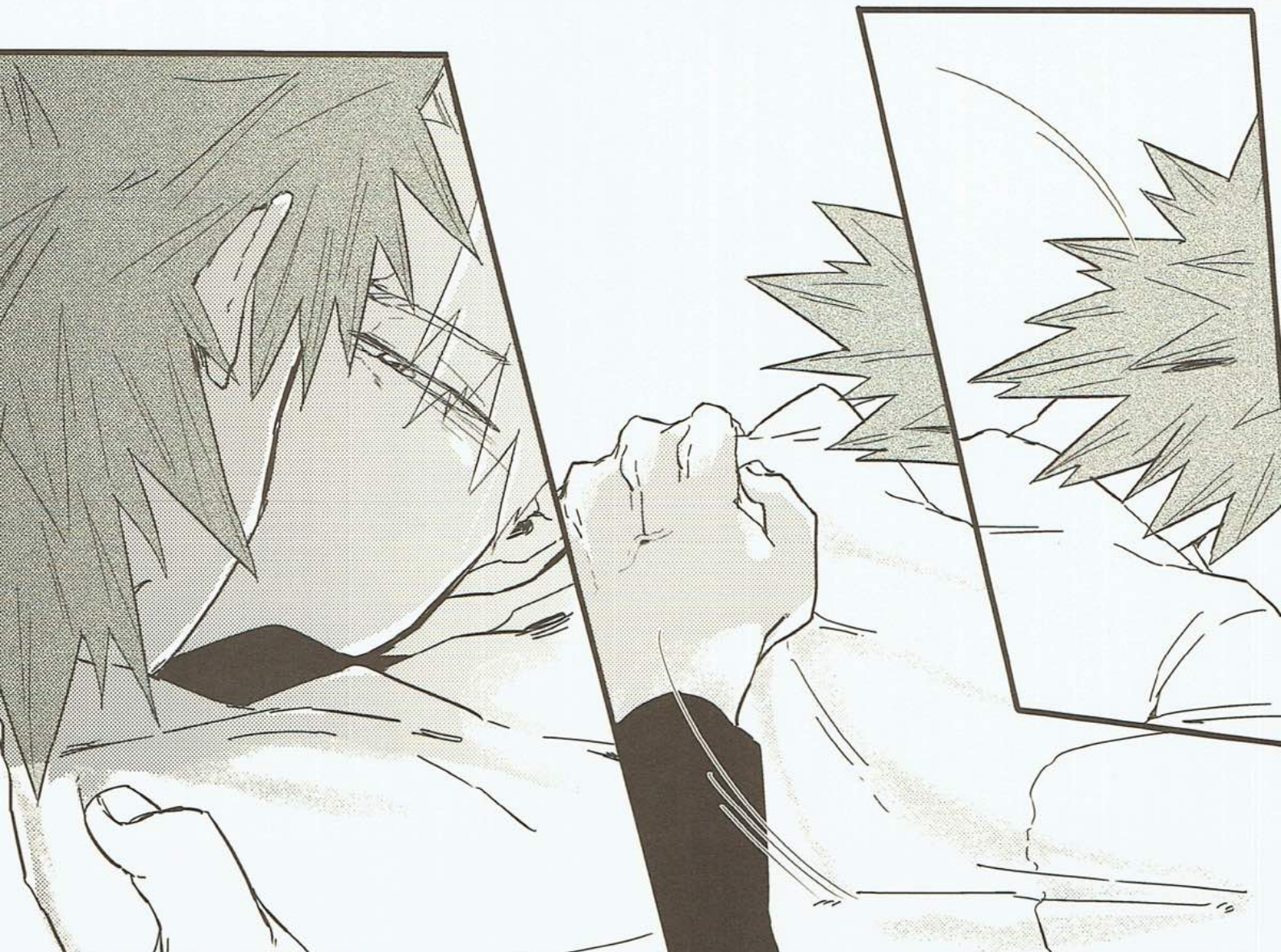




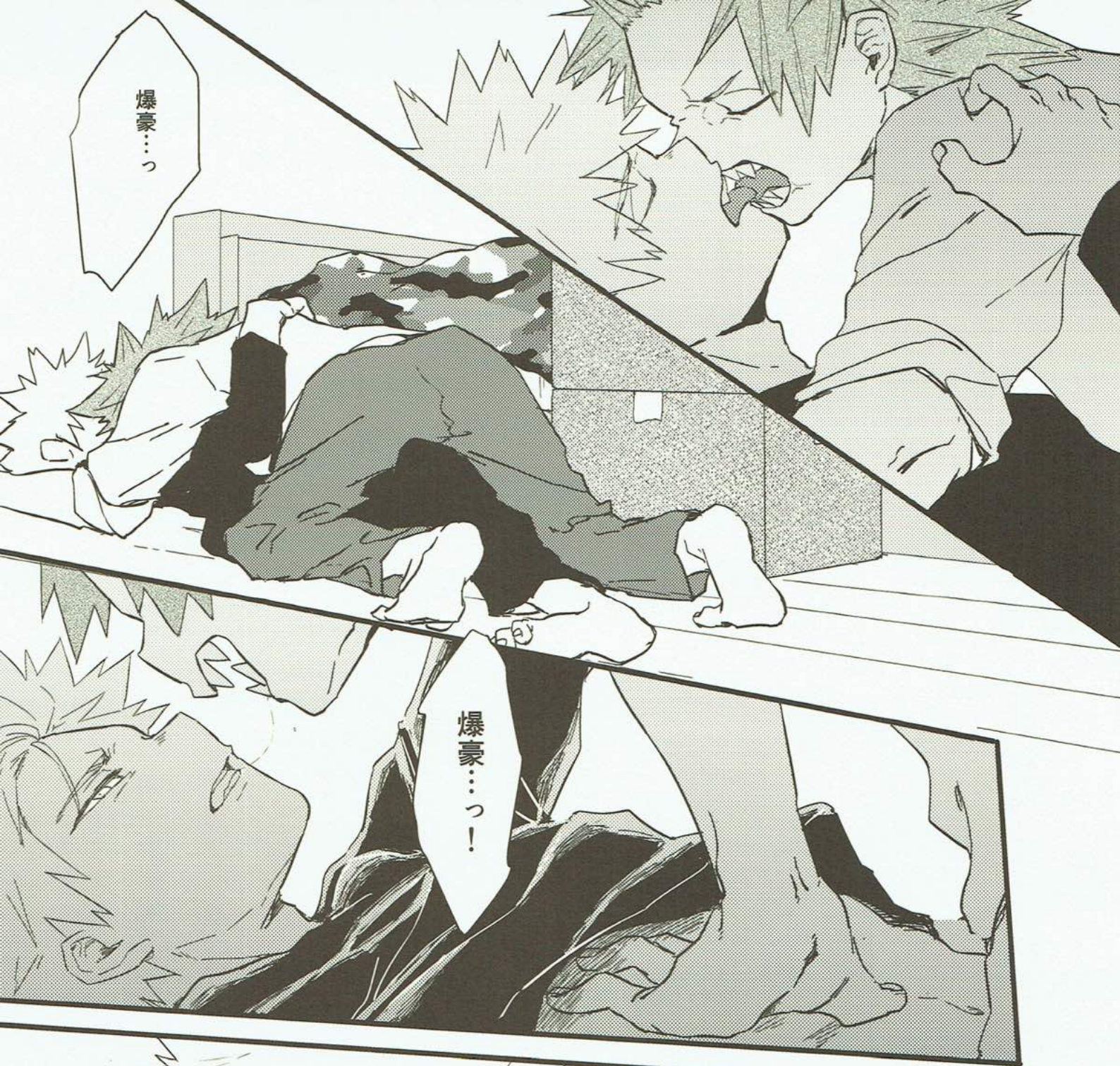












爆豪...っ

爆豪...っ!



馬鹿が...

おせーんだよ



俺っ...

ごめん  
ぼくごー...





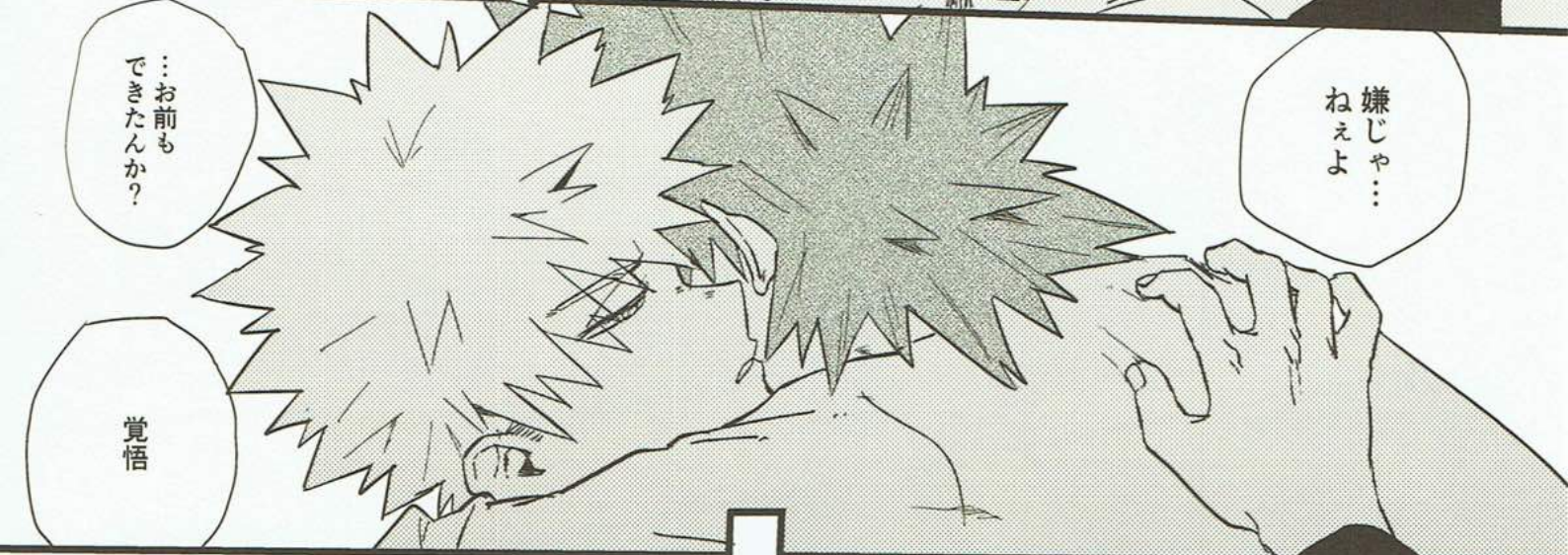
あ？  
んなヤワ  
じゃねえ

違う  
大事に  
したい



嫌なら言って

ほんとに…いい？



…お前も  
できたんか？

嫌じゃ…  
ねえよ

覚悟

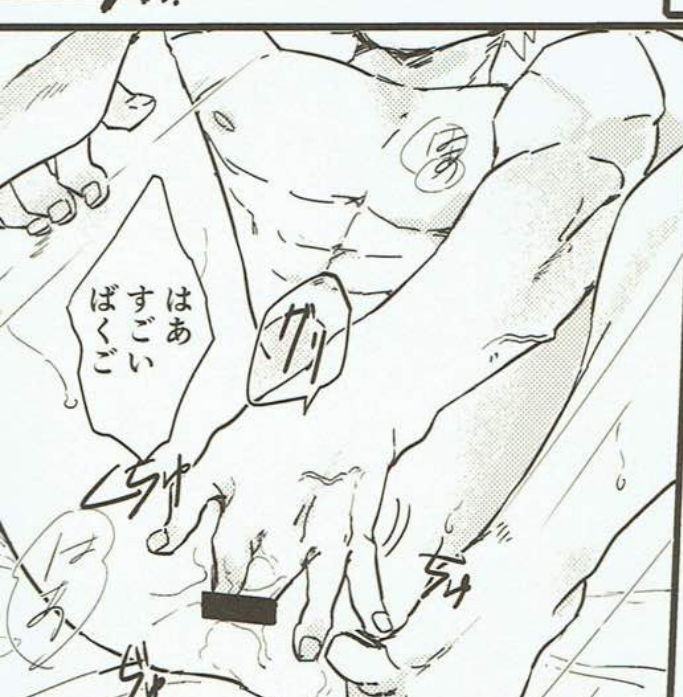


しゅわ…

ちゅわ…  
ちゅわ…



…うん



はあ  
すごい  
ほくご

ちゅわ

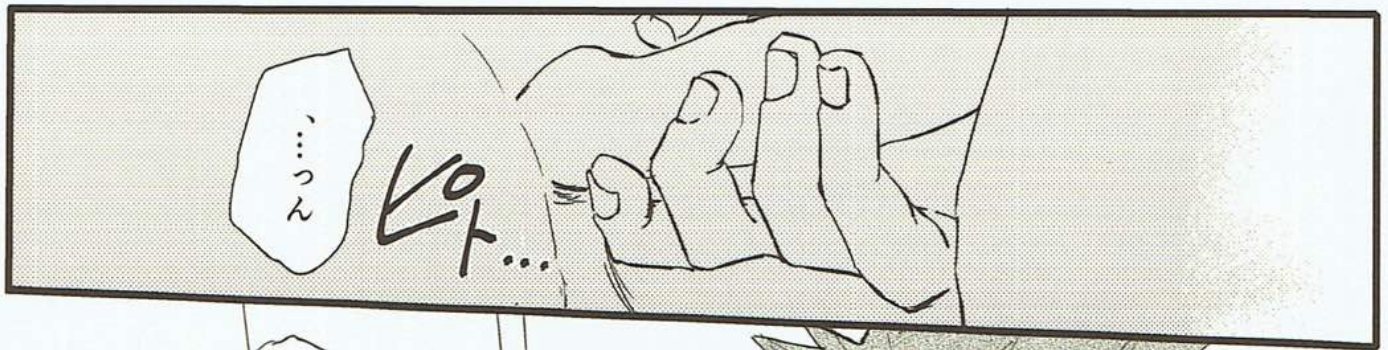


なんて顔  
してんだよ…













ああやっとな  
切島と...





豪っ  
あっ

切島

痛っ

切島

平気か?  
抜くな?

アホッ

うっ、  
ズズ

爆豪?!  
ごめん!



ズズ

ハッ

っるせ……!

俺は……

ハア

……はじめてなんだよ

ハア



ズズ  
……っ

え……爆豪  
泣いて……





ああ…

俺もだよ  
爆豪

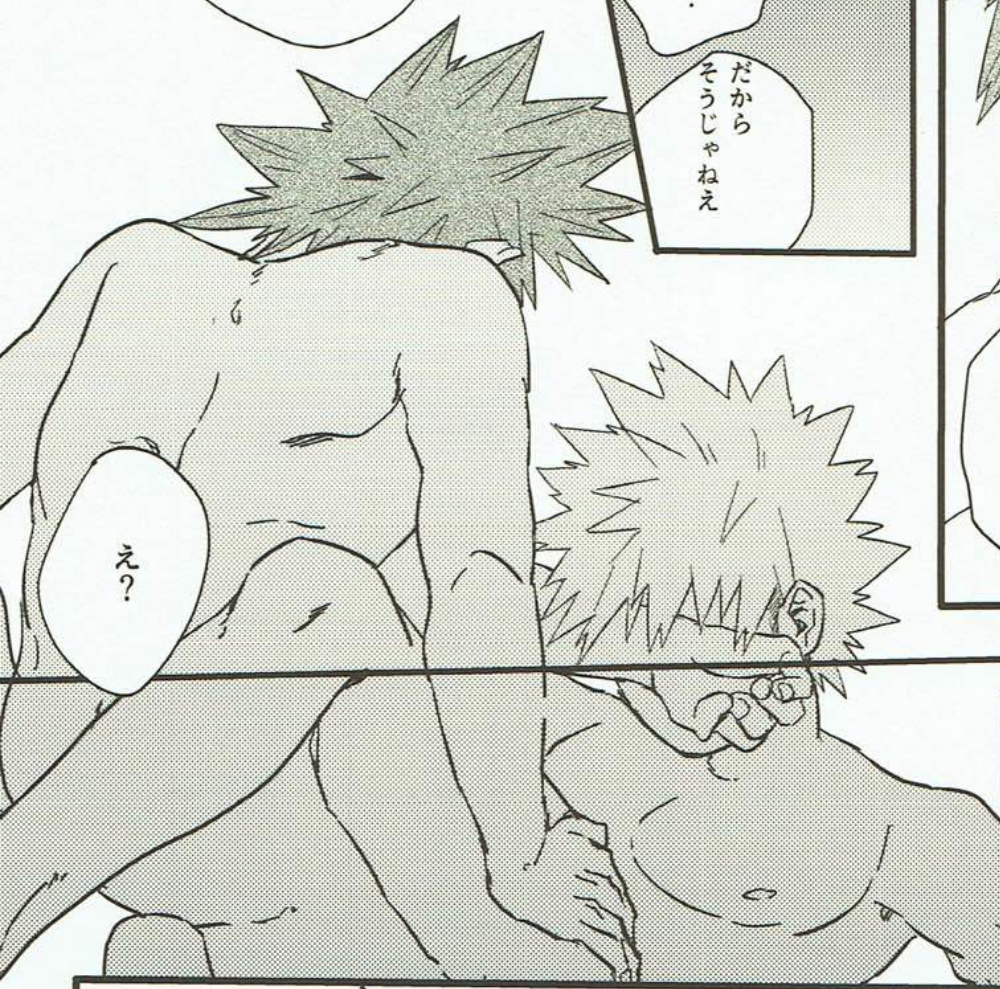
ちげえ

お前は  
わかってねえ

別に俺は  
ほんとに…

だから  
そうじゃねえ

俺はな  
てめえが  
浮かねえ顔  
してんのが  
嫌いなんだ



え？

普段から  
激情的で  
苛烈な男だと  
思っていた



てめえが自分を  
卑下すんのも  
馬鹿かって思う

馬鹿のくせに  
悩んでんのも  
うぜえ

よく怒り  
よく吠え  
よく悔しさで  
涙を溜めていた

ばくごー？  
大丈夫か？

それでも  
その奥の心まで  
零すことはなかった  
男の口から

俺はずっと  
打ち負かして  
びびらせて  
俺の頭には  
勝つと負けるしか  
なかったのに

なんかしてやりてえとか  
はじめて他人に  
…んな気持ちになった

こうやってポロポロ  
悲鳴みたいな言葉が  
堰を切ったみたいに  
零れて

俺のなかでたったひとつ  
キレイでまともな…  
犯されたくない感情なんだ

こんなものに  
あいづらが言うような  
好きとか…  
安っぽい名前を  
つけたくねえ

ブッ  
ブッ



俺は切島

だからどうしていいか

ずっと不安だった

お前がぜんぶはじめてなんだ

不安だからだろ

ぼく...うっ

何泣いてやがる

ポタ

ポロ...



だって爆豪

俺たちの心は  
きつとずっと  
隣にあった



なのに  
言うべきことを  
言わなかったり

言わないで  
いいことを  
言ったり

隣の壁一枚挟んで  
心がどんどん  
見えなくなつて  
しまった



神野の夜を思い出していた

爆豪の燃える体温と  
心臓を感じながら

言葉下手な  
俺たちは  
はやくこうして  
互いの手を握って  
いればよかったんだ

ずっと3年間  
不安に過ごした  
夜々のことを  
思った

そうして





手が届いて

救われたのは俺とお前  
どっちだったんだろう

手のひらの  
熱だけが  
確かだった

爆豪……っ

はあっ

切……島っ

はじめての  
セックスは

お世辞にも  
スマートにも  
うまくも優しくも  
出来なくて

二人そろって  
ぐずぐずで

男らしさなんて  
なくて  
カッコ悪くて  
みっともなく

ぱんぷん……

キリキリ……

それでも  
相手の熱が  
すぐそばにあることに  
夢中になって  
輪郭を確かめて

確かめるみたいに  
名前を呼んで  
最後の夜にはじめて  
抱き合ってた

頭がガンガンした

色んなもので  
いっぱいになって

今までの思いとか  
これからのこととか

あ……

ん……



友情とか

恋とか

ライバルとか

やるとか  
やらないとか

何が賢くて  
何が愚かだとか

何が正義で  
何が悪なのか

きつとどうとでも  
決めてしまう

決めるのは自分で  
誰も代わりに  
決めてはくれない

この手を握る  
意味だって  
自分の心が  
決めるのだ

俺たちは  
大人になるなかで  
そういうたぐさんの  
名付けをして  
いかなくちや  
いけないんだ

覚悟と責任がいる

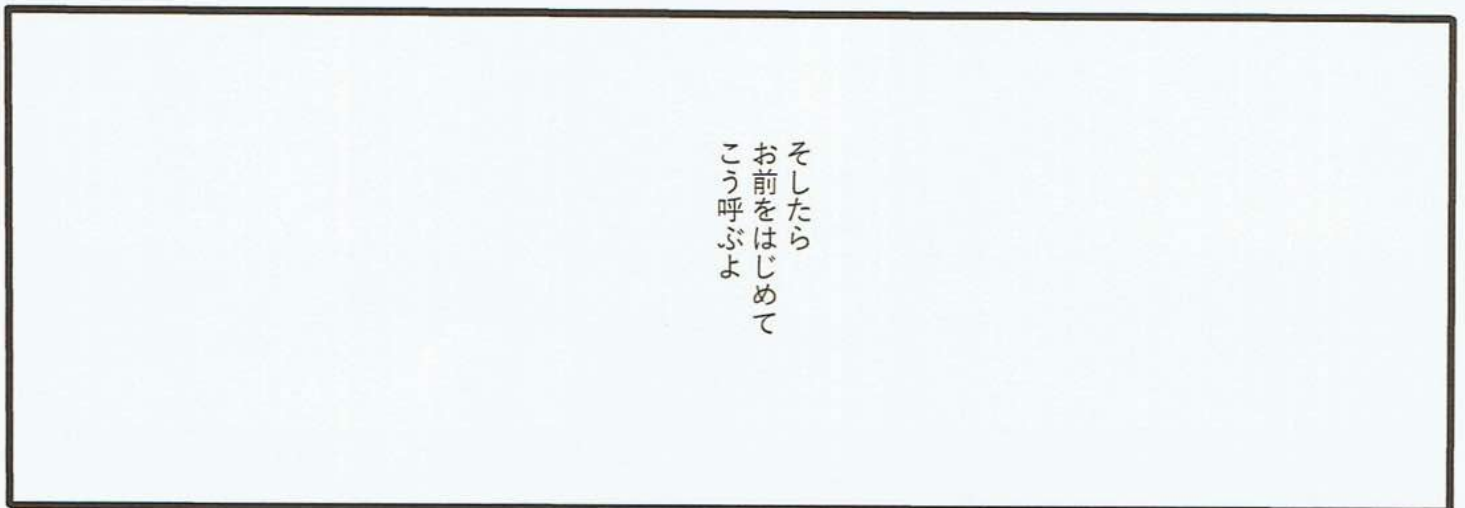


だからきつと  
うまく愛するのは  
難しい

明日起きたら  
俺たちはもう  
子供じゃないから

明日起きたら  
俺たちはもう  
クラスメイトじゃ  
なくなってしまうから





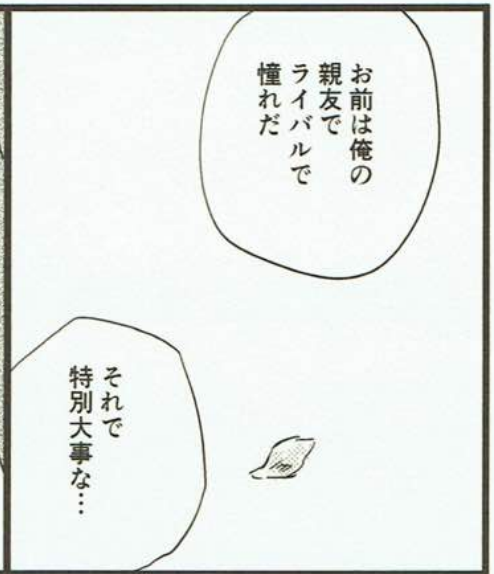




愛してるよ  
爆豪



恋人だ



お前は俺の  
親友で  
ライバルで  
憧れだ

それで  
特別大事な…



おい切島

ん？



ああ…  
そうかよ

マイン卒業  
カー



いいよ  
お前は  
言わなくて

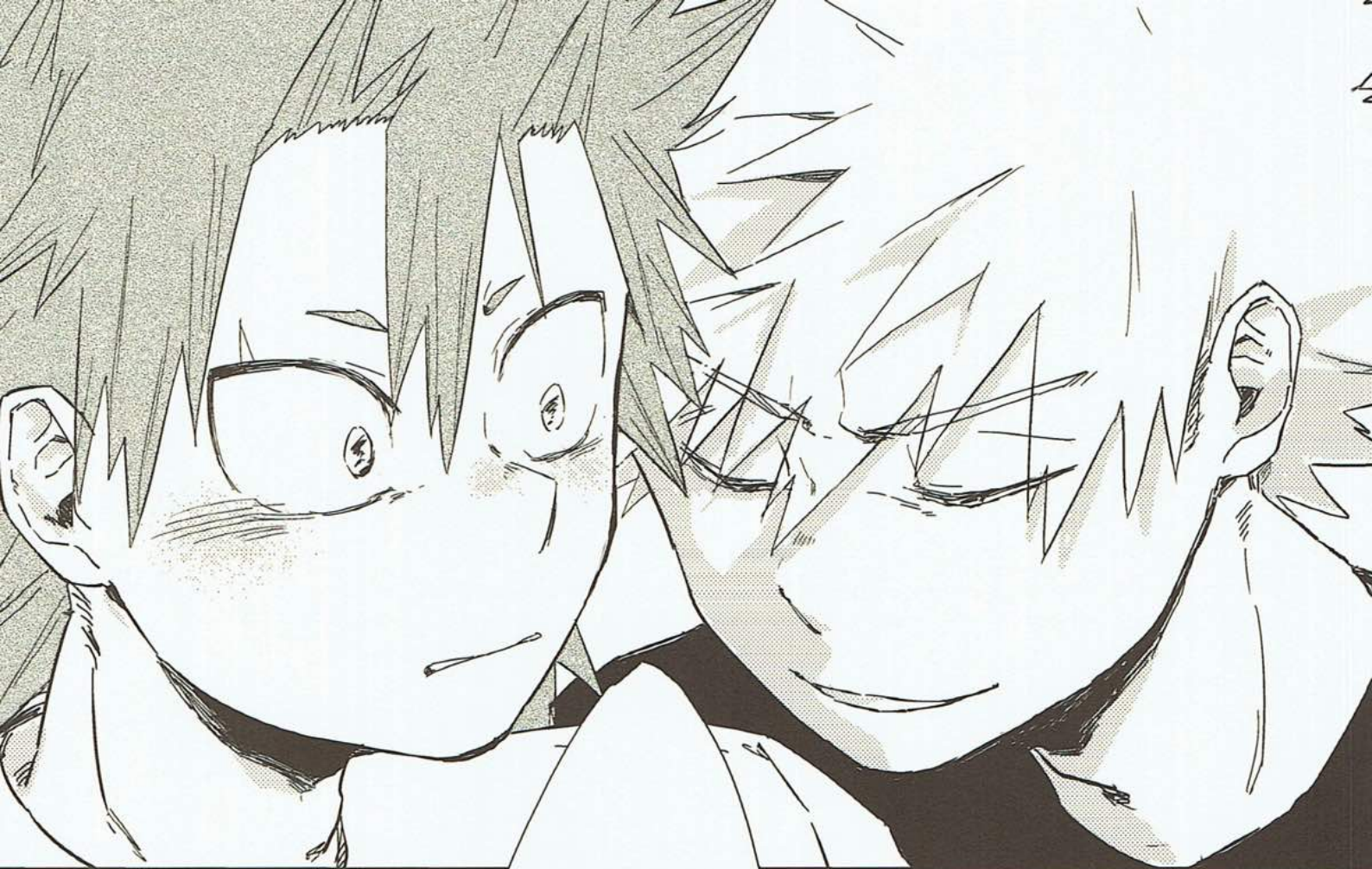
これは俺の  
お前をずっと  
大切にするぞー  
っていう覚悟だから



いいか  
一度しか  
言わねえ

？





愛してる



爆豪君の中の綺麗な感情や優しい感情は切島くんが  
はじめて教えてくれてるといいなと思いました。  
高校生の恋愛から大人の恋愛へなっていくとき  
自立した精神の二人は  
正しい愛情の取り扱い方とかを試行錯誤してくんたろうと  
思います。  
そして神野のあの瞬間を原点に一生大切にしてほしいです。  
ありがとうございました！

「はじめて」

2017.12.30

帰りたい。/まそえ

pixiv:7253803

twitter:masoenpit83

mail:masoenpitsu\_095@yahoo.co.jp

printed by 緑陽社





「お前がぜんぶ、  
はじめてなんだ」

2017/12/30  
MY HERO ACADEMIA  
Unofficial Fanbook #3  
帰りたい。  
切島×爆豪